

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A3 片面1枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは5MB以下としてください。

※事務局記入欄

【様式2】

No. 65

エントリー学校名：沖縄県立 八重山高等学校

活動名：
 主タイトル：チーム八重山高校の挑戦
 副タイトル：職員・生徒・保護者で遅刻者数減

解決すべき課題：八重山高校は、今年創立78年目を迎える八重山地区唯一の普通科の高校であり、人材育成に対する地域社会からの要望は強いものがある。近年少子化の影響もあり高校入試の一般入試倍率がほぼ1倍で、直近の倍率は平成29年度1.01倍、平成30年度0.90倍、平成31年度0.96倍と定員を下回ることが続き、地域社会に信頼される進学校としての八重山高校に、次のような課題が出てきた。
 (1)朝のSHRの遅刻者数が年々増加傾向にある。
 (2)成績不振者数が増加傾向、成績上位者数が減少傾向にある。

目標・方針：
 (1)三点固定（起床時間・家庭学習開始時間・就寝時間）を推進し、基本的な生活習慣の確立と朝のSHR遅刻者数の減少を図る。
 (2)手帳の活用で生徒の自己管理能力を育成し、主体的な学習習慣の確立を図る。
 (3)生徒一人ひとりの希望進路実現に向け、協働体制で組織的・継続的な進路指導の強化を図る。
 (4)学校の教育情報を適切に発信し、PTA及び他団体との連携を深め、保護者・地域社会・地域中学に信頼される学校を目指す。

活動内容：
 (1)職員研修会を開催し、学校の現状分析と今後の取組みについて共通理解を図った。(写真1・図1)
 (2)全生徒集会において、校長自ら生徒に学校課題の説明とその解決に向けた協力を求めた。(図2・3)
 (3)PTA新聞やPTA理事会において学校課題を説明し、保護者への協力依頼を行った。
 (4)全生徒手帳を購入し、朝のSHR時に全クラス統一して三点（起床時間・家庭学習開始時間・就寝時間）を記入する時間を設け、手帳の活用を推進した。

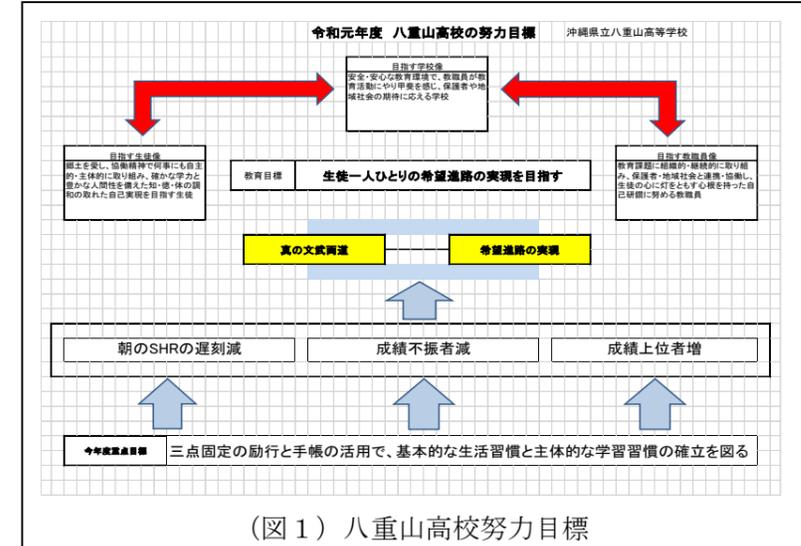
活動の成果：
 (1)全生徒集会や学年集会時における職員の話の中に、学校課題（特に朝のSHRの遅刻）と関連付けた内容が度々出てくるようになり、学校課題に対する組織的・継続的取組みが展開できた。
 (2)7年ぶりにPTA朝のあいさつ運動(写真2)が復活し、学校課題に対し保護者と連携した取組みができた。
 (3)年々増加傾向にあった朝のSHRの遅刻者数が、令和元年度は減少に転じた。(図4)

アピールポイント（アイデアや工夫）：
 (1)学校課題を数値で明確にし、職員研修・全生徒集会・PTA新聞とPTA理事会で共通理解を図り、チーム八重山高校として一致団結した取組みを展開することができた。
 (2)朝のSHR時に全クラス統一して手帳への記入時間（2分程度）を設けることにより、学校全体で計画的・組織的に手帳の活用と三点固定の推進を図ることができた。
 (3)毎学期の終業式において、教頭の学事報告の中で学校課題に対する途中経過を確認することにより、PDCAのマネジメントサイクルを回し続けることができた。

<写真、図表添付欄>



(写真1) 職員研修会



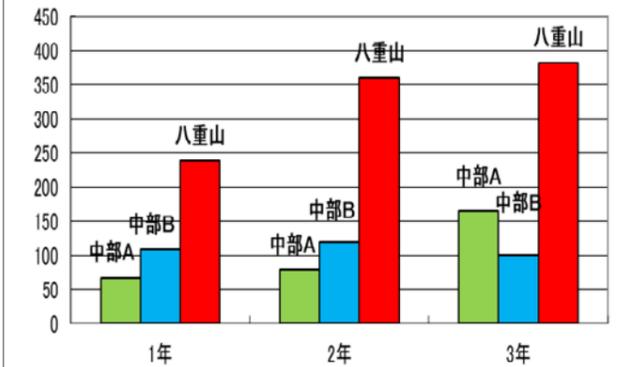
(図1) 八重山高校努力目標

全体集会の目的

めざす生徒像を達成するため、本校の課題を確認し、生徒と教職員が協力して、その解決に取り組む機会とする

(図2) 全生徒集会資料1

SHR遅刻の学校別・学年別比較

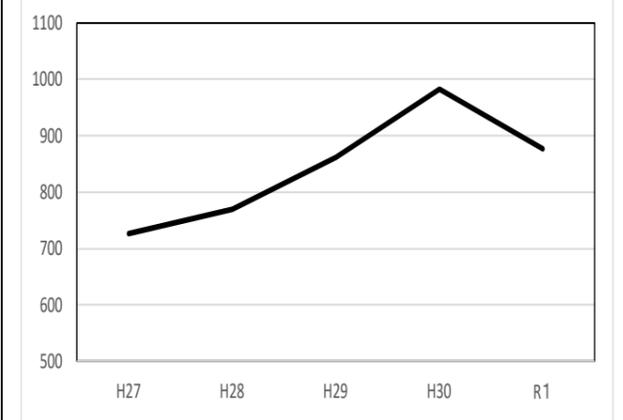


(図3) 全生徒集会資料2



(写真2) 復活したPTA朝のあいさつ運動

朝のSHR遅刻者数(年間)過年度比較



(図4) 朝のSHR遅刻者数の過年度比較